

伊勢国に幸す時に、京に留まれる柿本朝  
臣人麻呂の作る歌

四〇番

あみの浦に 舟乗りすらむ 娘子らが 玉裳の裾  
に 潮満つらむか

四一番

釧つく たふしの崎に 今日もかも 大宮人の  
玉藻刈るらむ

四二番

潮さるに 伊良虞の島辺 漕ぐ舟に 妹乗るらむ  
か 荒き島廻を